

宮城県感染症週報

■ 宮城県第8週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,927人(定点あたり49.6)で、前週比100%であった。

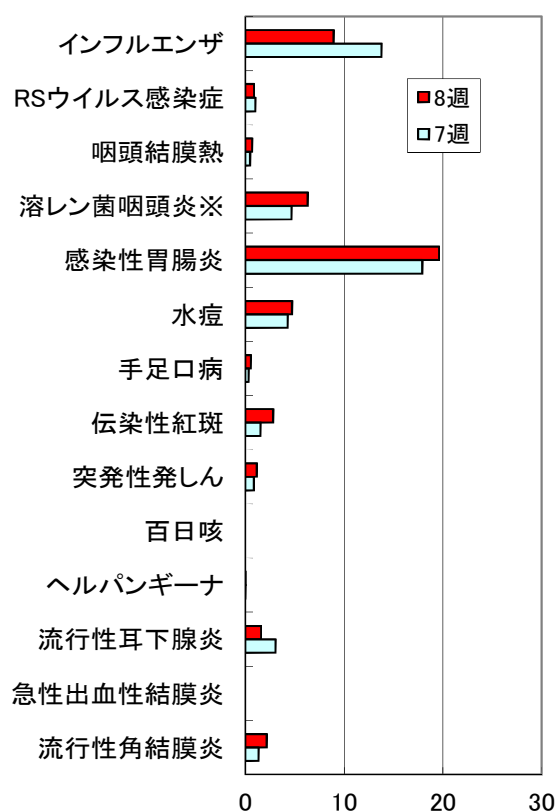
前週に比べ増加した主な疾患は伝染性紅斑とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎であった。

伝染性紅斑の報告数は101人(2.8)で前週比180%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(0.23)の約12倍と多い。県全体で警報レベルを超えており、高鍋(6.0)、宮崎市(5.0)、中央(3.0)保健所からの報告が多かった。年齢別では4歳から5歳で全体の約4割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は228人(6.3)で前週比136%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(2.5)の約2.6倍と多い。延岡(26.3)、日南(9.0)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では4歳から7歳で全体の約6割を占めた。

インフルエンザの報告数は528人(9.0)で前週比65%と減少した。宮崎市(15.8)、高鍋(12.3)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の41%、6-9歳が33%、10-14歳が14%、15-19歳が2%、20-50歳代が8%、60歳以上が2%を占めた。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報	定点あたり報告数		年 齢 分 布
	開始基準値	宮城県全体	基準値を超えた保健所	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	6.3	延岡(26.3)、日南(9.0)	4歳~7歳で全体の約6割を占めた。
感染性胃腸炎	20	19.6	日南(33.0)、延岡(25.8)、小林(25.0)、日向(20.8)	1歳~3歳で全体の約半数を占めた。
水痘	7	4.7	中央(10.0)、日向(7.3)	1歳~3歳で全体の約7割を占めた。
伝染性紅斑	2	2.8	高鍋(6.0)、宮崎市(5.0)、中央(3.0)、延岡・日南(各2.0)	4歳~5歳で全体の約4割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	1.6	日南(10.0)	2歳から6歳で全体の約7割を占めた。

※伝染性紅斑は第8週において流行警報開始基準値2を上回ったので流行警報が発令されました。

□ 感染性胃腸炎の集団発生（平成 23 年 2 月 21 日～平成 23 年 2 月 27 日まで）

保健所名	施設の種別	件数
宮崎市	老人福祉関係施設	1
小林	その他	1

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 10 例が都城（5 例）、宮崎市（3 例）、高鍋・日向（各 1 例）保健所から報告された。
《宮崎市保健所》・80 歳代の女性で無症状病原体保有者。
・60 歳代の男性で肺結核。咳、痰がみられた。
・80 歳代の女性で肺結核。発熱がみられた。
《都城保健所》・80 歳代の男性で肺結核。咳、呼吸困難がみられた。
・60 歳代の男性で肺結核。咳、痰、呼吸困難がみられた。
・30 歳代の女性で肺結核。
・10 歳代の男子で疑似症患者。咳、痰、発熱、胸痛がみられた。
・80 歳代の男性で肺結核。咳がみられた。
《高鍋保健所》・60 歳代の男性で肺結核。発熱、呼吸困難がみられた。
《日向保健所》・50 歳代の男性で無症状病原体保有者。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： 破傷風 1 例が宮崎市保健所から報告された。50 歳代の男性で筋肉のこわばり、開口障害、発語障害がみられた。

■ 全国第 7 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 33.7 で、前週比 91%と減少した。今週増加した主な疾患は流行性耳下腺炎と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

流行性耳下腺炎の報告数は 3,085 人（1.0）で、前週比 132%と増加した。長野県（5.3）、香川県（3.3）、宮崎県（3.1）からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 1,255 人（0.4）で、前週比 114%と増加した。富山県（2.2）、福井県（1.4）、沖縄県（0.94）からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約 8 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 80,667 人（16.4）で、前週比 76%と減少した。愛知県（32.3）、富山県（29.9）、山口県（28.0）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 30%、6-9 歳が 29%、10-14 歳が 17%、15-19 歳が 3%、20-50 歳代が 18%、60 歳以上が 3%を占めた。

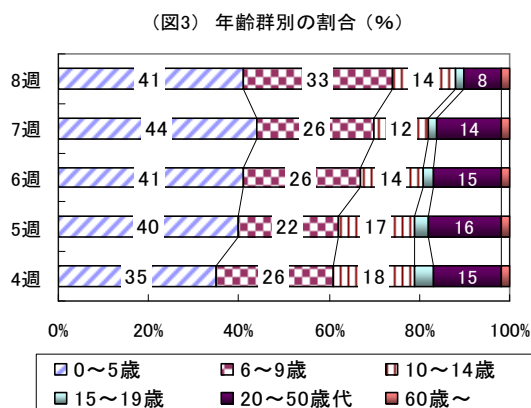
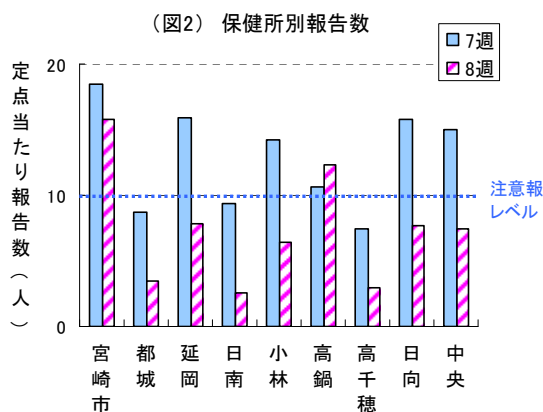
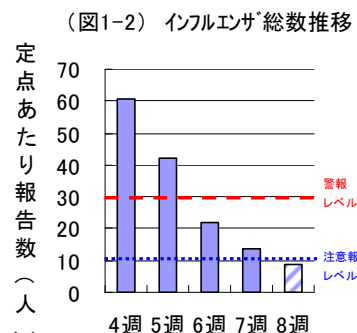
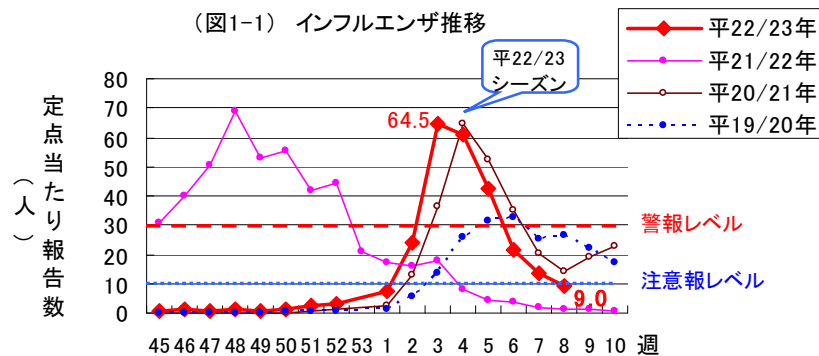
□全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 314 例
- 3 類感染症： 細菌性赤痢 3 例、腸管出血性大腸菌感染症 10 例、腸チフス 1 例
- 4 類感染症： A型肝炎 6 例、つつが虫病 2 例、デング熱 2 例、レジオネラ症 7 例
- 5 類感染症： アメーバ赤痢 10 例、ウイルス性肝炎 1 例、急性脳炎 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4 例、後天性免疫不全症候群 15 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 10 例、風しん 1 例、麻しん 5 例

■ インフルエンザ情報《県内第8週、全国第7週（再掲）》

□ 県内第8週インフルエンザ発生動向

平成23年2月21日～2月27日までの1週間で528人（定点あたり9.0）の報告があり、前週に比べ65%と減少した（図1-1,2）。宮崎市（15.8）・高鍋（12.3）保健所からの報告数が多い（図2）。年齢別では5歳以下が全体の41%、6-9歳が33%、10-14歳が14%、15-19歳が2%、20-50歳代が8%、60歳以上が2%を占めた（図3）。



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○：警報レベル、△：注意報レベル、－警報・注意報レベルなし

保健所	今週（第8週）		1週前（第7週）		2週前（第6週）		3週前（第5週）		4週前（第4週）		5週前（第3週）	
	2/21～2/27		2/14～2/20		2/7～2/13		1/31～2/6		1/24～1/30		1/17～1/23	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	15.8	△	18.4	△	24.4	△	38.6	○	50.0	○	60.6	○
都城	3.4	－	8.7	－	19.0	△	41.8	○	64.5	○	78.1	○
延岡	7.9	－	15.9	△	26.3	△	66.1	○	104.1	○	105.9	○
日南	2.6	－	9.4	－	18.2	△	31.0	○	65.4	○	68.2	○
小林	6.4	－	14.2	△	31.8	○	46.2	○	75.2	○	71.4	○
高鍋	12.3	△	10.7	△	12.7	△	32.8	○	45.7	○	48.2	○
高千穂	3.0	－	7.5	－	6.5	－	22.5	△	30.0	○	15.5	△
日向	7.7	－	15.8	△	20.8	△	42.3	○	42.2	○	28.0	△
中央	7.5	－	15.0	△	29.0	△	57.0	○	64.0	○	64.0	○

□ 全国第7週インフルエンザ発生動向

平成23年2月14日～2月20日までの1週間で80,667人（16.4）の報告があり、前週比76%と減少した。愛知県（32.3）、富山県（29.9）、山口県（28.0）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の30%、6-9歳が29%、10-14歳が17%、15-19歳が3%、20-50歳代が18%、60歳以上が3%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第08週(02月21日～02月27日)

疾病名		第7週	第8週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	815	528	253	34	55	13	32	74	6	46	15
	定点あたり	13.81	8.95	15.81	3.40	7.86	2.60	6.40	12.33	3.00	7.67	7.50
RSウイルス 感染症	報告数	37	33	5	7	3	3		7		8	
	定点あたり	1.03	0.92	0.50	1.17	0.75	1.00	0.00	1.75	0.00	2.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	18	25	1	10	10	3				1	
	定点あたり	0.50	0.69	0.10	1.67	2.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	168	228	39	15	105	27	1	12	2	24	3
	定点あたり	4.67	6.33	3.90	2.50	26.25	9.00	0.33	3.00	2.00	6.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	645	707	137	115	103	99	75	61	17	83	17
	定点あたり	17.92	19.64	13.70	19.17	25.75	33.00	25.00	15.25	17.00	20.75	17.00
水 痘	報告数	154	170	61	34	6	2	4	24		29	10
	定点あたり	4.28	4.72	6.10	5.67	1.50	0.67	1.33	6.00	0.00	7.25	10.00
手足口病	報告数	12	21	19					2			
	定点あたり	0.33	0.58	1.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	56	101	50	8	8	6	1	24	1		3
	定点あたり	1.56	2.81	5.00	1.33	2.00	2.00	0.33	6.00	1.00	0.00	3.00
突発性発しん	報告数	32	42	9	5	5	5	3	11		4	
	定点あたり	0.89	1.17	0.90	0.83	1.25	1.67	1.00	2.75	0.00	1.00	0.00
百 日 咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1	1								
	定点あたり	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	110	58	18	3	5	30				1	1
	定点あたり	3.06	1.61	1.80	0.50	1.25	10.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	13	11	2							
	定点あたり	1.33	2.17	3.67	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	3										
	定点あたり	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数

下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～8週)

2類感染症	結 核	43例(10)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例				
4類感染症	つつが虫病	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	3例
	梅毒	1例	破傷風	1例(1)		

●動物感染症累積報告数(2011年1週～8週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	15例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲